

日鶏協速報

高病原性鳥インフルエンザ関連 No. 31

高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内43～46例目）について

千葉県、宮崎県の養鶏場において家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（今シーズン国内43～46例目）が確認されました。

会員各位におかれましても、国の飼養衛生管理基準を順守してより一層の警戒と対策を行ってください。

■よくわかる鳥インフルエンザの防疫の注意点（農林水産省）

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/attach/pdf/r2_hpai_kokunai-115.pdf

■鳥インフルエンザに関する情報（農林水産省）

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>

| 農場の概要

- 43例目：千葉県旭市、採卵鶏（約42万羽）
- 44例目：千葉県多古町、採卵鶏（約115万羽）
- 45例目：宮崎県新富町、採卵鶏（約24万羽）
- 46例目：千葉県匝瑳市、採卵鶏（約25.6万羽）

| 会員専用電話

当協会では高病原性鳥インフルエンザ対策本部の設置とともに、鳥インフルエンザに関する会員専用電話を設置し、会員の皆様からのご相談を受け付けておりますので、ご利用ください。

【会員専用電話】 TEL：070-4564-1896

受付：営業日 16：00～18：00

休業日 10：00～17：00

【高病原性鳥インフルエンザ対策本部 事務局】

一般社団法人 日本養鶏協会

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号馬事畜産会館内（5階）

TEL：03-3297-5515 FAX：03-3297-5519 E-mail：info@jpa.or.jp

担当：浅木、阪本、野澤、松崎

今シーズン（2020-21）は、
多量に鳥インフルエンザウイルスが
あちこちに存在しています！！

今シーズンは**世界的にも**
発生が相次ぐ非常事態。
カモや白鳥等の渡り鳥がウイ
ルスを持って大陸から飛来。
糞便等によって野山、池、道
路等にウイルスが排出。



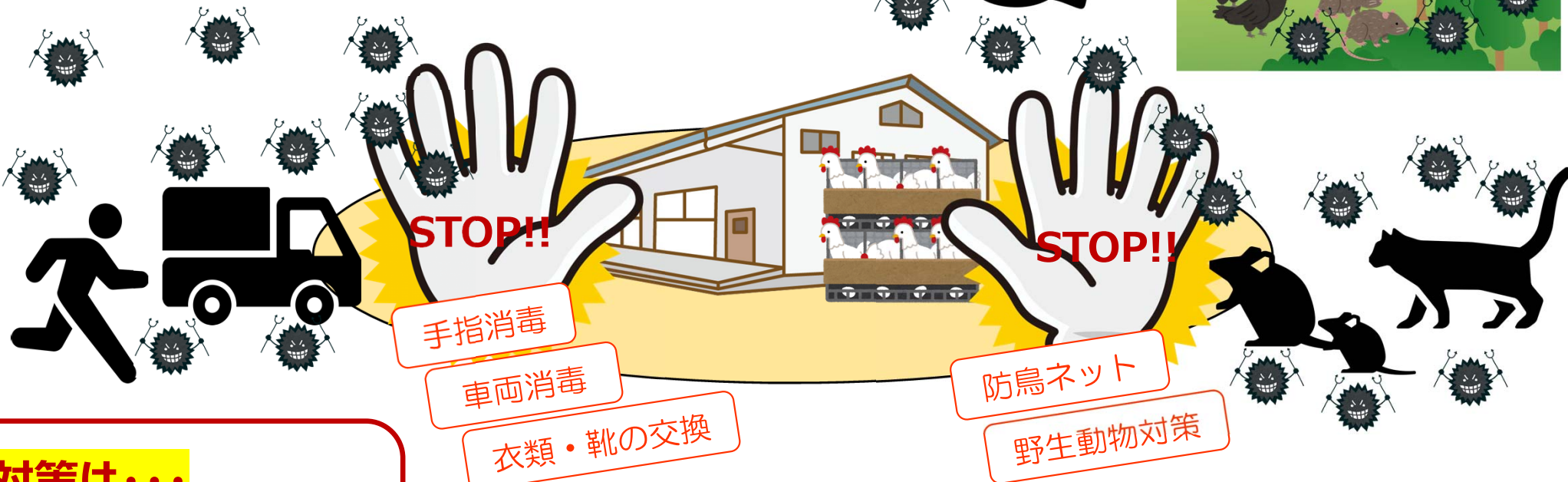
鳥や小動物を捕食する
ハヤブサや**フクロウ**等の
猛禽類も感染死

池、川、道路にも・・・



あちこちに

野山、森、公園にも・・・



対策は・・・

消毒や防鳥ネットの管理など
全ての従業員による
飼養衛生管理の
基本の徹底!!

「ウイルスを農場内に入れさせない」
「ネズミやネコにも油断しない」

農場を守れるのは・・・

あなた
農場主だけ・・・

地域一帯となった消毒も**有効**です。

防鳥ネットや消毒機器等の整備など、
支援も用意していますので、
ご相談ください。



今シーズンのウイルスの特徴について

今シーズンは、農場周辺のあちこちに、
多量の鳥インフルエンザウイルスが存在。



でも...

農場・人・物・車両の消毒等により、
ウイルス量を**一定量以下まで減らせば、
感染を防ぐ**ことが可能です。



※農研機構の試験において、 10^5 EID50では鶏が死亡し、 10^4 EID50では死亡しない結果。
(1EID50：発育鶏卵の半分を感染させるウイルス濃度)

徹底的な消毒で、
この**渡り鳥の飛来シーズン**を乗り切れるよう、
関係者が**連携し、頑張りましょう！！**



鳥インフルエンザの症状

写真出典：農研機構動物衛生研究部門

特に、以下の症状には要注意。

元気消失



肉冠のチアノーゼ



顔面の浮腫性腫脹



突然死



今シーズンのウイルスは、感染してから
死亡するまでの期間が長い傾向
があるため、
鶏の症状に注意を払う必要があります。

必ずしも全ての症状がみられる
わけではないことに注意！！

「**いずれかの症状に当てはまる**」
「**何か異状がみられる**」
「**死亡羽数が増えている**」

そんなときは、
最寄りの家畜保健衛生所等に要
相談！！

早期発見
早期通報
● ●
が重要です!!